

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



清水秀臣さん 7歳 (小学2年生)

＜表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています＞

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味があればご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明 (30字程度) ③掲載するお名前 ④学年 (年齢) ⑤保護者の方の連絡先 (氏名・メールアドレスまたは電話番号) を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

＜編集委員募集のお知らせ＞

月に一度発行している「あおぞら」は、愛知県被災者支援センターのスタッフとボランティアの方がたで協力をして発行しています。あなたも編集委員になってみませんか？

＜発送作業のボランティア募集＞

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

11月10日便の予定			11月25日便の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	11月9日(水)	午後	封入作業	11月24日(木)	午後	
発送作業	11月10日(木)	午前	発送作業	11月25日(金)	午前	

私がボランティアを始めたきっかけは東日本大震災です。ただ、震災の年にボランティアをすると家族に言ったら、妻から「自分の家庭すらまともに面倒が見れないアンタに、他人の面倒が見れるのか」と言われました。家族の協力が得られるようにしてからボランティアを始めようと思ひ、子どもたちが高校を卒業したのを機に活動を始めました。

何で福島の支援なのとよく聞かれます。

小学生の時、キュリー夫人の本を読んでから放射線に興味がありました。放射線の良いところ、悪いところがあるなか、東日本大震災では悪いところが出てしまいました。見えない放射能の影響といつなくなるか分からない放射能のストレスは計り知れないと感じ、福島の支援をしようと決めました。

愛知県でできる福島への支援を探し、保養活動を知りました。そして、保養活動に参加するようになり4年が経ち、今は夏に岡崎市内の団体で1日、岐阜県の団体では1週間ぐらい泊まり込みで活動に参加しています。

岡崎の団体での手伝いは1日ですが、会社のクルーザーを借りて、子どもたちを蒲郡市の三河大島へ海水浴に連れていきます。私は、あまり子どもたちと接することもしないのですが、子どもたちが楽しそうに笑った顔を見ているとすごく心が安らぎます。この海水浴をやるのにボランティアをどうやって集めようと思ひ、ボランティア経験のなかった会社の同僚に声を掛けてみたら、「いいよ」と7、8人のメンバーを集めて手伝いに来てくれまし



＜カヌーを楽しむ子どもたち＞

た。このメンバーは毎年手伝いに来てくれます。その後、毎年新しい人たちが手伝いに来てくれるようになりました。三河大島の海の家のオーナーにもいろいろ面倒を見てもらっています。手伝いに来てくれたメンバーは、帰り際に「来年も手伝うからね」と言って帰っていきます。その年の6月ぐらいには、「今年は何日にやるの」と声をかけてくれます。私ひとりでは、この海水浴へ招待することはできないので、皆さんには本当に感謝しています。

始めてまだ4回ですが、毎年携わってくれる方たちが増えました。福島へ目を向ける人が増えていき、愛知へ遊びに来た子どもたちが楽しんで帰ってくれるように、今後も活動を続けたいと思います。

そして話は変わりますが、年2回、福島県いわき市の温泉へ遊びに行っています。毎回、海岸沿いを車で走りながら、どんどん整備が進んでいるのを実感します。しかし、計画的に整備が進むのを見るほど、手探りで進めていく放射能対策とのひらきを感じてしまいます。

福島への支援を10年、20年としなくてもよくなるようになるのが良いのですが、支援が必要な間は続けていきたいと思っています。

(ボランティア 細江健治)

9月6日（火）、福島県からの避難者であおぞら編集委員の中村友恵さんと一緒に、同じ福島県から昭和区に避難されているIさんにお話をお聞きしました。

★避難の経緯

日ごろは常に満タンにしておく自動車のガソリンを3月11日（金）に限って翌日に給油すればいいやと考え、給油していませんでした。そしてあの地震で、スタンドにもガソリンがない状況が続きました。やっとガソリンを入れることができ、東北新幹線が那須塩原駅まで運転を再開した4月初めに、夫に那須塩原駅まで送ってもらい、私と娘、孫二人（当時5か月と2歳）で、娘の夫が単身赴任で暮らす名古屋市に避難することができました。それまでは町の施設で避難生活をしていました。そこでは私のような高齢者や乳幼児などの弱者が厚遇されていました。また、5か月の孫は夜泣きがひどく困りましたが、職員の宿直室に入れてもらえ、他の避難者の方への迷惑をあまりかけずにすみ、助かりました。今思い返せば、夜泣きの原因は断水のために何日もお風呂に入れず、全身がかゆかったからかもしれません。そんな避難所での生活で最も困ったのはトイレでした。施設のトイレも、仮設トイレもすぐに満杯になってしまいました。幸いなことに、近くの病院でトイレを借りられるようになり、ありがたかったです。そんななか、私も体調を崩し、めまいと吐き気があることを社会福祉協議会の方に相談したところ、救急車で病院に行くことになったということもありました。

★当時

「放射能から逃げろ」と言われても、私

はその意味がわかりませんでした。福島空港や山形空港から飛行機で遠くへ避難した方もいたようです。

★避難先とこれから

私は夫と田舎町で魚介類販売業を営んでいましたが、地震の揺れがひどく、冷凍庫や冷蔵庫などの設備が破損してしまいました。今更、設備を直すこともできないので廃業を決めました。夫は今でもその家を守って一人で生活をし、年に数回、皆に会いに名古屋に来てくれます。私は、孫たちの面倒を見ながら、名古屋に定住することにしました。名古屋では素晴らしいボランティアの皆さんに助けられ、とても感謝しています。

★健康・心配事

福島県立医大の県民健康検査の一環で、孫は名古屋大学付属病院で甲状腺の検査を受けることができました。しかし、その場ではエコーの画像を見せてもらうことができず、説明も受けることができなかったので不安がつりました。別途、愛知民医連（愛知県民主医療機関連合会）の甲状腺検査を受けさせていただいたときには、その場でエコーの画像を見ながら説明を受けることができたのでよかったです。また、そのときに検査を勧められたので、次の機会には孫だけではなく、大人の私や娘も受けようと決めています。

★避難元

「Iさんの住んでいた町は、まるで絵葉書のような風景のある所です」とは、同行してもらった中村友恵さんの言葉です。種々の果物（モモ、リンゴ、ブドウ、ナシなど）が栽培されている所です。1軒が、土地も家も広く、心豊かな町。これを聞いた私は一度訪問したいと強く思いました。

（編集委員 瀧川裕康）

ふくしま交流会に参加して



<五平餅を食べながらの交流風景>

9月11日（日）に豊橋市のコープあいち豊橋生協会館で開催された『ふくしま交流会』に参加しました。開始時間ちょうどに会場に着くと、「トントントントン…」と小刻みな、そして力強い音に迎えられ、ひさしぶりの再会、あいさつの歓喜がかき消されるようでした。この熱気溢れる心地よいリズムは、つみれ汁に入れられるサンマのすり身を作る音！フードプロセッサーでは到底作り出せないふんわり感を出すため、朝早くから包丁でていねいに叩いて仕込みをしてくださっていました。それがいただけるなんて～。私の食欲は朝から最高潮になりました。さらには、コープや豊橋地区のボランティアなどが五平餅を作ってくださり、ナシやイチジクも加わり、とてもすてきなおもてなしを受けました。福島から自主避難して4年半。当初と変わらず、私たちを見守ってくださっている方々に改めての感謝と、子どもの成長や、除染活動終了をきっかけに、愛知県を去っ



<サンマをさばいているところ>

て福島県に戻る決断を下した方のさまざまなお悩みなど、交流会では多くを考慮の場が与えられます。今回は、今までお会いしたことのない方とお話する機会もあり、見聞を広めることもできました。趣味の域をこえたプロ並みの作品をどんどんと作り出すビーズのお師匠（こう呼ばせてください）の長時間にわたる手ほどきも受けることができ、すてきなビーズブレスレットが完成しました。何も考えず一つのことに没頭するぜいたくな時間は、なかなか煩雑な日常では味わえません。

自身の子どもの大きくなり、土日と娘と共に過ごすことがめっきり少なくなった今日このごろ。交流会に親子参加はむずかしくなりつつありますが、主人と二人だけでも大人の交流会参加をしていきたいと思えます。

楽しいひとときをありがとうございました。

（避難元福島県福島市 小野佳奈）



<交流会の風景>



<参加者で記念撮影>

支援団体紹介（岡崎市福祉部福祉総務課）

岡崎市では東日本大震災の発生直後から、被災された方を受け入れる体制を整え、被災された方の把握や支援メニューの整備を行ってきました。現在は愛知県、愛知

県被災者支援センター、市民活動団体などと連携を図りながら支援を継続的に行っています。現在の具体的な支援として、以下の事業を行っています。

1. Withカードの発行

岡崎市に避難された方が安心して生活できるように支援するため「With(ウィズ)カード」を発行し、岡崎市の各種制度の案内や支援メニューをまとめた「被災者支援メニュー一覧」とともに、愛知県受入被災者登録制度に登録された方に配付しています。「東日本大震災で被災された皆さんとともにいる」という意味から「Withカード」と名付けています。

市民税や各種証明書発行手数料の減免など負担を軽減するメニュー、特定健康診査の案内や定期予防接種の実施など住民票を移さずに避難している方の健康面を

フォローするメニュー、岡崎城や岡崎市美術博物館など市内の施設を無料で利用できるといった支援メニューがあります。被災者の皆さんをさまざまな面からフォローできるよう取り組んでいます。



2. 被災者訪問活動

市内に居住している方を定期的に訪問しています。健康状態にお変わりはないか、岡崎市で生活するうえで感じている不便

はないかをお伺いするとともに、困ったときにいつでも市役所に相談いただけるよう、顔の見える関係づくりに努めています。

3. 市民活動団体との協働

市内で被災者支援活動を実施する「福島のみんな！遊びにおいでんプロジェクト」との協働により被災者の方の交流事業などを行っています。同団体は、福島の親子

を招いて保養してもらったり、中学生のバスケットボール部などを招いて市内外のバスケットボール部との交流を図るなど、福島の被災者と岡崎市民との交流を図る事業や、市内の被災者に対する個別訪問や学習支援事業などを実施しています。同活動が円滑に実施できるよう職員も参加して被災者との交流を図ったり、活動に対しての県や市の補助制度への申請補助を行ったりするなどの支援を行っています。



<おいでんプロジェクトでの記念撮影>



お出かけ情報

～商店街 第3弾～ 街歩き編



商店街の衰退が言われて久しいですが、愛知県内には活性化策を進めている商店街が多くあります。そのなかで取組みによって、賑わいをみせ始めた商店街を紹介していきます。さまざまなイベントを行っているのので、出かけてみませんか。



柳原通商店街



場所： 名古屋市北区柳原 2-20-13

アクセス： 地下鉄名城線「名城公園駅」より東へ、徒歩約 10 分

愛知県下では最初に、全国では2番目に「商店街振興組合」として登録された、名古屋市北区にある「柳原通商店街」は、名古屋城から東に歩いて 15 分程、南にはテレビ塔が臨めます。『オシャレ』よりも『レトロ』なイメージで、昭和の懐かしさをとところどころに感じる商店街。最近ではめったに聞けなくなった濃～い「名古屋弁」も健在です。夏と冬には商店街の道路を歩行者天国にしてのイベントも開催しています。車では見落としがちな街の風景を、ゆっくり歩いてご堪能ください。

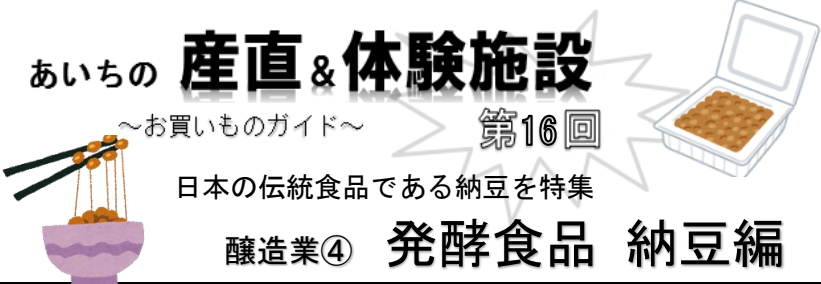
<愛知県内の商店街>

No	商店街名 (アクセス)	沿革	取組み
①	栄町商店街 (地下鉄栄駅 徒歩 5分)	名古屋市のメインストリートである広小路通りの中で最も賑やかな栄エリアに位置し、400年の歴史がある商店街です。	アートストリート事業…周辺に美術館が複数あり、芸術家や芸術を愛する人々が行き交うなど、芸術にゆかりのある地域で「芸術の街」としても広く打ち出す取組みです。
②	弁天通商店街 (地下鉄浄心駅より東へ 400m)	全長 400m、幅 30m と商店街としては道幅が広く、平成 12 年に電線類地中化工事が実施された歩道の脇には七福神の石像が点在し、来街者を出迎えてくれます。	弁天マルシェ…30 年以上続く特売セール「弁天市」の開催日である毎月 3 日と、新たに第 3 土曜日を追加した月 2 回、「宝塔寺」の境内や店舗の駐車場を会場にして開催される朝市です。
③	諏訪地区商店街 (名鉄諏訪町駅 徒歩 10分)	「すわポン商店会」と「プリオテナント会」の二つの組織から成り立っており、創意工夫をこらしたイベント等を行なっています。	リアルすごろく…商店街を一つの大きなすごろく盤とみなし、店舗や施設をすごろくのマスに見立てるといった大胆な発想が生んだ、面的な広さを活かしたイベントです。
④	蟹江一番街発展会 (近鉄蟹江駅 北エリア一帯)	近鉄蟹江駅から北へ約 1.5km 離れた JR 蟹江駅前までまっすぐ伸びる通りをメインストリートとして、その周辺の 6 つの通りから形成されている商店街です。	Aloha de 一番街…「ハワイ」がテーマのイベントで、ビアガーデンやフラダンスの体験教室など多彩な内容で人気です。8 月下旬の週末に 2 日間に渡り開催され、回を重ねるごとに規模が大きくなっていきます。


● 詳しい情報は各施設のホームページ等でご確認ください。上記の情報は愛知県が発行した「あいちの商店街」という冊子をもとに作成しました。詳しい情報は右の QR コードからご確認ください。



あいちの **産直&体験施設**
 ~お買いものガイド~ **第16回**
 日本の伝統食品である納豆を特集
醸造業④ 発酵食品 納豆編



今月号で紹介していない産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧になれます。



煮た大豆を納豆菌で発酵させて作る納豆は、本来の大豆に含まれている栄養素に加え、発酵することで、さらに別の多様な栄養素が生成されます。有名なものに酵素のナットウキナーゼがあります。心筋梗塞や脳梗塞、生活習慣病の予防など、健康効果が期待されており、日本が世界に誇る健康食と言っても過言ではありません。これを機会においしい納豆を食べて健康に過ごしませんか？

PICK UP

山下食品株式会社

場 所： 岡崎市暮戸町字元社口 9
 連絡先： 0564-31-2847 / 0564-31-7211
 営業日時： 8:00~16:00



創業以来、豆洗いからパッケージングまですべて手作業で行い、完全なる手作りという製法を大切にしている山下食品。「手作りだからこそ、大豆を直接見て、温度や時間などを微調整できる」と言います。社長のこだわりが納豆作りに反映されています。北海道を中心に、納豆に適した大豆を厳選し、軟水を使ってふっくら柔らかな食感を生み出しています。そのコンセプトは“素材の生きた納豆”。全国納豆鑑評会で最優秀賞「農林水産大臣賞」に輝いた納豆です。

<愛知県内の納豆製造及び販売会社一覧>

No	施設の名称	住所・場所	連絡先	QRコード
①	サンデイリー 株式会社	安城市頭茶屋町南裏 81-1	0566-98-5611	
②	有限会社 高丸食品(寿納豆本舗)	大府市一屋町 1-80	0562-46-5025	
③	高野元秀商店	名古屋市北区真畔町 27	052-981-1737	
④	有限会社 豆一本舗	名古屋市中区丸の内 3-19-14 林敬ビル	052-951-3969	
⑤	株式会社 丸富	名古屋市中川区広田町 3-42	052-369-2321	
⑥	株式会社 おとうふ工房いしかわ	高浜市豊田町 1-204-21	0566-54-0330	
⑦	株式会社 ミツカン	半田市中村町 2-6	0569-21-3331	

●購入については、施設のホームページや電話で詳細を確認してください。



ボランティアスタッフ紹介 ～ 安田知里さん ～

支援センターのボランティアスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第7回は安田知里さんです。

東日本大震災時は、ボランティアに携わることができず、震災4年後の平成27年3月に宮城県仙台市を観光しました。その際、地元の方との会話で「震災時は何もできなかったので観光旅行に来ました」とお話すると、「遊びに来てくれてありがとう。いっぱい買い物してくれたらうれしい」という言葉と、「震災のことを忘れないでほしい」という切なる願いを聞き、私に何ができるだろう？と考えさせられました。そんな矢先に、『あおぞら』と出合いました。愛知県被災者支援センターの存在や避難者状況を知り、平成27年12月から封入作業や交流会・追悼式に携わっています。この愛知県で、皆さんと寄り添いながら、大切なご縁を育みたいのです。どうぞよろしくをお願いします。



支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★避難先で就労するという事は、大変だと思います。まだ決まらない方も、根気よく探せばきっとあなたに向いた仕事が見つかると思います。(H.T)
- ★『ハウスキーピングコーディネーター2級』を取得しました。勉強したことを活かして、身近なところから掃除していけたらなあと思いました。(J.I)
- ★住宅の問題を抱えている皆さん。さまざまな可能性をご一緒に考えませんか？(E.K)
- ★蒸し暑い毎日、いつまで夏なのか？ランチの帰り道、街路樹の銀杏(いちょう)並木の歩道に銀杏(ぎんなん)がたくさん落ちていて、あの特有の匂い。またその根元に赤い曼珠沙華(マンジュシヤゲ)。秋はきている、とも実感。(K.T)
- ★「故郷を持たぬ人なり曼珠沙華 描ききれぬ思いの空の曼珠沙華 群青の制服走れ曼珠沙華」(H.I)
- ★息子の高校文化祭へ。クラス発表、がんばってました。ほっこり…(T.N)

<11月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
11月1日(火)	安全な食と生活を考える東尾張交流会	尾張旭市
11月2日(水)	里山を歩きましょう	千種区
11月5日(土)	これからの暮らしをいっしょに考えよう in 豊橋	豊橋市
11月5日(土)～ 12月25日(日)	高浜市やきものの里かわら美術館 特別展『さくらももこの世界展』	高浜市
11月19日(土)	これからの暮らしをいっしょに考えよう in 名古屋	熱田区
11月20日(日)	ふるさと祭りいも煮会2016	熱田区
11月27日(日)	甲状腺エコー検診・健康相談会	南区
11月27日(日)	豊田お茶飲み交流会	豊田市

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
Mail: aozora@aichi-shien.net

- 11月のイベントの詳細は定期便に同封のチラシをご覧ください。皆さんのご参加をお待ちしております。